

2023 年度春期

ワイカト大学語学研修 報告書 (5 名分)

2024 年 3 月 2 日～2024 年 3 月 24 日

ワイカト大学春期語学研修 2023 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	2024 年 3 月 2 日～2024 年 3 月 25 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

大学在学中に留学したいと思っていたが、コロナの影響や講義で機会に恵まれずにいた。今回まとまった時間が取れるようになったので参加することにしました。語学力の向上というよりは、ニュージーランドに行ってみたい・異文化に触れたいという思いでした。

申し込み手続きは、国際交流センターの方が教えてくださるので難しくはありませんでした。私はパスポートをもともと持っていましたが、持っていない人は早めに作っておくことをお勧めします。

語学対策に対しては特に何もしていませんでした。リスニングをかねて YouTube など英語の音楽や動画を見るのも良いかもしれません。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

レベル分けされたクラスが5つほど開講されていました。内容は各クラスにより様々でしたが、どのクラスでも楽しめると思います。事前のクラス分けテストは自分のそのままの力で挑んで大丈夫です。主にグループワークの形式の授業なので、他の大学の人と仲良くなれる機会となります。上のクラスでもほとんどが日本人なので、英語を話すことに自信がなくても安心できると思います。英語が得意な人には少し退屈な部分もあるかもしれません。しかし、マオリの文化や言語といった英語以外のことも学ぶことができるので授業を受ける価値は十分にあると思います。

現地の学生との交流の場として週に一回“English club”というものがあり、ただ話すだけでなくゲームなどをして楽しむことができます。また、ワイカト大学の正規の日本語授業にネイティブスピーカーとして参加する機会があり、英語を使うこともあるので良い勉強となりました。

授業は15時に終わるので、放課後はアイスを食べに行ったりお買い物に行ったりしました。金曜日は午前で終わるので、ワイカト博物館やハミルトンガーデンなど観光することもできます。週末は事前に申し込んだツアーとしてホビット村とワイトモ洞窟に行きました。現地でツアーを申し込むこともできます。ツアーがない日は、ホストファミリーとお出かけしたり、自分たちでオークランドに電車で行ったりしました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	一人暮らしの女性でした。彼女の母親や親戚がよく家に来ていて様々な人と英語で話す機会が多くありました。恋人も泊まりに来ていたので少し気まずかったです。 家は大きく、部屋も広かったので快適でした。シャワーは毎日 20 分の許可があったので助かりました。
食事、健康管理	料理が嫌いなホストマザーだったので、学校に持っていくランチは毎日インスタント麺でした。また、夜もほとんどが外食でした。多様なお店に連れて行ってもらえたのは良かったと思います。
持参してよかったもの (理由)	ヒートテックや上着は持参して良かったと思います。昼間は暑いですが、通学時間帯の朝はとても寒いです。 また、天気予報が当てにならず、雨が急に降ったりするので折り畳み傘は必須だと思います。 延長コードを持っていくこともおすすめです。
危機管理 (危険な目に遭わないために気を付けていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	特に危険な目にあうことはありませんでしたが、念のためスーツケースは鍵をかけ、財布はチェーンをつけていました。 オークランドに行った際にタクシーでぼったくられたので気を付けてください。止まっているタクシーに乗るのではなく正規の Uber を呼ぶ方がいいと思います。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	121,370 円	
海外旅行保険	13,790 円	
研修費用	429,260 円	入学登録料、授業料、ホームステイ、空港送迎料、大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	30,000 円	アイス、カフェ、外食
交通費	8,000 円	Bee カード (5,000 円)、タクシー
その他（小遣い、通信費など）	60,000 円	お土産等
合計		662,420 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

(写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です)



ニュージーランドはアイスクリームの消費量が世界一なので、アイスクリーム屋さんが多くあります。私はアイスが大好きなので2日に1回くらい食べに行っていました。ハミルトンにある「ダックアイランド」は有名な店で、大学から行きやすい場所にあるので放課後はワイカト大学生が多く来ていました。



事前に申し込んだホビット村とワイトモのツアーです。ホビット村に関しては、映画の撮影地として知られている場所ですが、映画を見ていなくても楽しめました。ワイトモ洞窟は写真撮影ができないので残念でしたが、景気はきれいでした。キウィハウスではキウィを見ることができました。クラスメイトの他大学の学生が見ることができなかったと言っていたので、運がよかったと感じました。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

日本では経験できないことがたくさんできます。3週間という短い期間なので英語力の向上というより、多様な人種の方が住んでいるというニュージーランドの特徴を生かして異文化交流をしたいという人におすすめです！

ワイカト大学春期語学研修2023 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	2024年3月2日～2024年3月25日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）
英語の実践や海外への好奇心で申し込みました。今回、初めての海外だったのでパスポートを取るところからでしたが、動き始めが10、11月からだったので同じく申込していた人たちにも話を聞きながら進めていました。
2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）
研修前に日本で行ったテストによって英語力ごとにクラス分けされ、3週間割り当てられたクラスで英語の授業を受けていました。クラスの大半が日本人でしたが、台湾人（中国語）やチリ人（スペイン語）のクラスメイトや英語ネイティブな先生など日本語が通じない人もいたので、休み時間も英語をしゃべるというルールがあり、そういった環境での勉強ができたというのは良かったです。授業はトークの練習やリスニング・リーディングの練習など勉強というより英語の練習といった色が強く、ホームステイや外出での英会話に活かせるように思います。
放課後は火曜日には現地の日本語を学んでいる学生との交流、木曜日には現地の学生や他国からの長期留学生など全く日本語の通じない学生と英語で交流してみたりなど大学内でも過ごせるイベントがありました。金曜日は大学の授業が午前で終わるため、少し遠出をしたりショッピングを楽しんだりなど大学外で過ごすことが多かったです。
3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	私がお世話になったホストファミリー宅では食事を一緒に取ることが少なく、会話の回数もあまり多くなかったです。そのため、食後に紅茶やコーヒーと一緒に飲みながらテレビを見たり、休日のお出かけに誘ってみたりして交流を図っていました。
食事、健康管理	個人的に食事の量がすごく多く感じていて、食後には必ず紅茶やコーヒー、デザートなどを勧めてきてくれます。デザートや間食を考慮して食事の量をセーブすることもしなければならないです。
持参してよかったもの（理由）	iPad 私のクラスではプリント資料が中心の授業が行われていて、日本に帰ってくるときにデータにして持ち帰り、紙は全て捨てておくことができました。逆に、パソコンはほとんど使わなかったため、個人的には持って行ったことを後悔しました。 ホストファミリーへの日本土産 緑茶を持って行ったのですが、一緒に飲みたいと伝えて数回だけ食後のティータイムの時間を設けることができました。また、自分の食事のときに飲んだり、日本を懐かしむこともできます。 持参しなくて後悔したもの 文房具 今回シャープペンシル、消しゴム、黒ボールペン子かもって行っておらず、授業がノートやプリントを使うものだったので少しノートがとりづらかったです。また。クリアファイルを持って

	行っていなかったため、授業の配布プリントをまとめるためにファイルを現地で購入しました。 スケール 荷物の重さを測るためのスケールを用意せず、海外では友達に借りて帰りの用意をしていました。これくらいは自分で用意すべきだったと後悔しています。
危機管理 (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	スマホや財布は落としたり失くしたりしないよう、ショルダーにしたりカバンにつけたりして持ち歩いていました。また、ホストファミリー宅を出るときにはパスポートや予備の現金など貴重品をキャリーケースに入れてキャリーケースの鍵を閉めるなどして管理していました。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	121,370円	株式会社JTBへの支払い
海外旅行保険	13,790円	株式会社JTBへの支払い
研修費用	429,260円	入学登録料、授業料、ホームステイ、空港送迎料、大学学生保険等を含む。
滞在費	円	ホームステイ 大学研修費用に含まれる
食費	約20,000円	ホームステイ先で食べる以外に個人的な外出などで使用（モーニングやランチなど）
交通費	約5,600円	ホームステイ先から大学、遊びに行くときのバスや電車賃
その他（小遣い、通信費など）	約100,000円	お土産、お買い物などなど
		食費・交通費・その他は 1NZドル＝100円で計算
合計		690,020円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください*ここに貼り付けなくてもOKです）

授業最終日にクラスでパーティーをした様子です。クラスには異なる時期から来ている留学生がいるので週の終わり金曜日には送別会代わりのパーティーが開かれることもありました。（私の場合は1週目と3週目）それぞれでスナックを持ち寄りお菓子やちょっとしたゲームをしたりなどして楽しい時間を過ごすことができました。



★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

何かトラブルがあった際は大学の日本語が通じるアドバイザーさんにも相談ができるため、安心です。頑張ってください。

ワイカト大学春期語学研修 2023 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	2024 年 3 月 2 日～2024 年 3 月 25 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

特にこれといったことはしていませんが、簡単な日常会話や自己紹介のフレーズは、少し調べておきました。在学中に海外での経験を積みたかったため、応募しました。申込み手続きは、国際交流センターの方の指示に従い、行いました。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

グループワークを中心とした授業でした。学生同士の交流も多く、ピクニックに行ったり、図書館に行ったり、大学内を体験したり、とても楽しかったです。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	ニュージーランド出身のホストマザーとホストファザーと犬がいました。とても優しく、聞き取りやすい英語を話してくれました。毎日、一緒に晩御飯を作り、週に何回かお菓子を作りました。晩御飯の後は、一緒に犬の散歩に行き、映画を見ながら過ごしていました。
食事、健康管理	ホストファミリーが作るごはんは、とてもおいしかったです。フルーツや野菜も多く、毎日健康に過ごすことができました。
持参してよかったもの （理由）	iPad パソコンを持っていきましたが、一回も開くことはありませんでした。
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど）	危険な目に合うことはなかったですが、持ち物の管理だけはしっかりと行っていました。とても治安が良かったです。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	120000 円	
海外旅行保険	12000 円	
研修費用	429,260 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	5000 円	
交通費	2000 円	
その他（小遣い，通信費など）	70000 円	
合計		638260 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して，その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）

ホストファミリーと毎日，犬の散歩に行ったことが楽しかったです。犬ととても仲良くなることができました。ホストマザーのおばあちゃん，おじいちゃんがもっているボートに乗って，魚釣りをしたことが一番の思い出です。自分で釣った鯛のフィッシュアンドチップスはとてもおいしかったです。日本食として，晩御飯にお好み焼きを作ったのですが，おいしいと言ってくれて，とてもうれしかったです。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

海外で過ごしてみたいという方にお勧めです。あまり英語に自信がなくても，現地に行けば話せるようになります。ぜひ参加してみてください。

ワイカト大学春期語学研修 2023 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	2024 年 3 月 2 日～2024 年 3 月 25 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

（応募動機）今まで大学生の長期休みをただ何も経験せずダラダラと過ごしていました。せっかくの長期休み！！だから、何か経験したいと思って応募しました。

（申込み手続き）今回は JASSO の奨学金が利用できたのでその申し込みを行いました。あとは国際交流チームの方がおっしゃる通りに申し込みを進めると、何事もなく申し込みが完了することができました。

（語学対策）何文か自分がスムーズに使える文型を覚えて行きました。

航空券は自分でも確認をすることがおすすめです。預け入れ荷物が1つしかダメと思い込んでいましたが、いざ確認をすると2つまで持っていくことができました。自分で情報を集めることも大切だと思いました。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

授業はレベルごとに4つに分かれていて、クラスごとに色がかったように感じられました。実際受講した際も自分のレベルに合ったクラスで、とても満足することができました。

私のクラスでは、教科書を進めることはもちろん、学生同士のスピーキングや速読の練習、ゲーム形式で単語の練習などを毎日行っていました。時には図書館に足を出向いて本の要約の練習も行いました。英語にとっても苦手意識があった私でも毎日楽しい！と感じられるような授業でした。

またニュージーランドの先住民であるマオリが使うマオリ語を学ぶことができます。日本の授業とは雰囲気の違いいつでも先生に質問ができる雰囲気がありました。

大学はとても広くて、綺麗です。中にカフェがいくつかあり、モーニングも楽しむことができます。

毎週木曜日の 15:00～16:00 でイングリッシュクラブが開催されているので、毎週参加しました。英語の文が全く話せなくても単語がいくつか話せて、笑顔があれば一時間英語で

話し続けることができます。参加することで英語を話す機会と現地の方と友達になれる機会が得られるので、とてもいいアクティビティです。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	私のホストファミリーはお父さん、お母さん、9ヶ月の赤ちゃんの3人暮らしです。夜ご飯は毎日18:00にみんなで食べて、朝ごはんは自分で作るという家庭です。私が学校から帰ってきた時やご飯を食べたあとなどにたくさん会話をしました。ニュージーランドの人は話すのが速く聞き取れないことが多かったですが、ホストファミリーはそんな私を見てゆっくり丁寧に発音してくれていました。そのおかげで英語が苦手でもたくさん話すことができました。一緒にアイスを食べたり、お祭りに出かけたりしました。ニュージーランドのおすすめのご飯屋さんを紹介してもらったり、ツアーに行く時に集合場所まで送ってくれました。どれも素敵な経験ばかりで、お別れの際は思わず泣いてしまいました。 ホストファミリーと住む時はやってもらって当たり前と思わないようにしていました。自分から進んで家事を手伝ったり、お弁当も一緒に作っていました。そうすることでホストファミリーとの会話も増えて関係が良くなると思います。 またホストファミリーには積極的に話しかけていました。向こうも気を遣って逆に話かけないこともあります。自分はたくさん会話したい！！仲良くなりたい！！という意思をしっかりと表現することも大切だと感じました。
食事、健康管理	家庭によるとと思いますが、私の家族は魚と野菜が嫌いだったのでお肉と揚げ物が中心でした。どれも美味しくて日本食が恋しくなることはあまりありませんでした。ただ、栄養が偏って口内炎ができてしまったのでビタミン剤などを持参すれば良かったです。 薬もいくつか持って行きましたが一回も使うことはなかったです。
持参してよかったもの (理由)	爪切り；3週間留学ではいらないと思っていましたが、途中で巻き爪になったことから持参して良かったと思いました。 ヒートテック；寒暖差が激しく、最後の週には最低気温が5℃の時がありました。軽くてあまり荷物にならないヒートテックはおすすめです。

	日本のおもちゃ；けん玉を持ってきたのでイングリッシュクラブの時にみんなで遊ぶことができました。
危機管理 (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

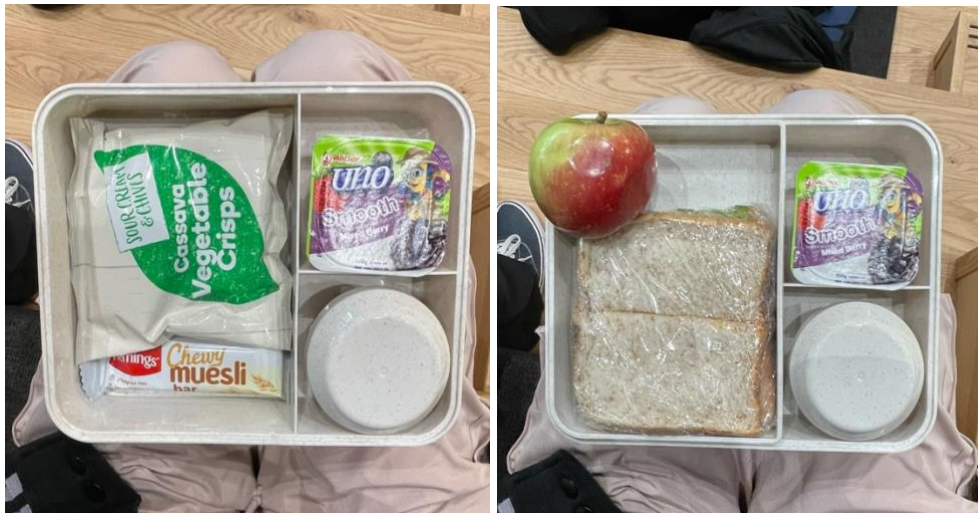
項目	金額	備考
航空運賃	121,370 円	
海外旅行保険	12,430 円	
研修費用	429,260 円 0 0 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	40,000 円	
交通費	2,804 円	
その他（小遣い，通信費など）	60,000 円	
合計		665,864 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

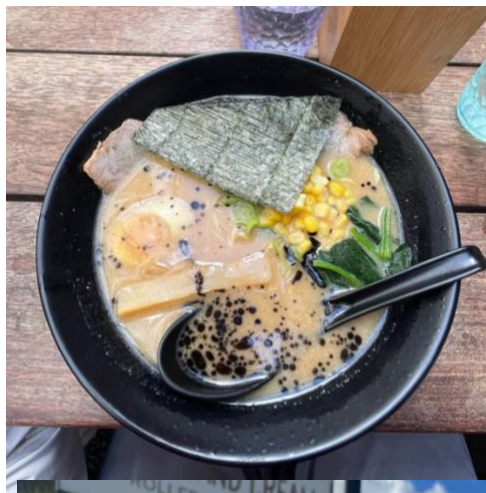
（写真を添付して，その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です。



（食べ物）朝などに大学のカフェスペースを利用することができます！
これはランチボックスです。りんごをも丸ごと渡されたことが驚きでした！



ランチに行った時の写真です。お寿司やラーメンなどの日本の食べ物があったことが印象的でした。物価は高く、ラーメン一杯で 1700 円ほどかかりました💰エッグベネディクトが特に美味しかったです。NZ のアイスおすすめです！！！！



（観光）

大学のツアーでホビット村とワイトモ洞窟に訪れることができました。どちらもガイドさんが付いて説明してくれます。私は全く聞き取れなかったのでツアーに行く際はその場所のことを自分で調べてから行くと面白さが増すと感じました！



また他大学の人たちと一緒にオークランドに行きました。電車で行く方が安かったので、電車を利用しました。電車の中は空いていて、カフェも利用することができます。

オークランドではスカイタワーに登ったり、ビーチに行ったりして楽しむことができました。ただ、オークランド内で利用したタクシーでぼったくりにあったので、タクシーを使う際はアプリで呼ぶのがおすすめです！



（学校）

この時期は日本の学校が長期休みなのでクラスのほとんどが日本人でした。クラスの中で帰国する人がいれば、みんなでお菓子パーティーをしました。

もし日本人以外の方と話したいのであればイングリッシュクラブがおすすめです。ワイカト大学の生徒と話すきっかけになります。私はその機会から友達を作ることができました。最後の時にはストラップをくれました。帰国後も英語で連絡を取っていて、英語の練習にもなります。英語が話せなくても勢いと単語で会話できたので、ぜひ参加してほしいです。



（お土産）

スーパーマーケットでお菓子を揃えました。

またワイカト大学内でワイカト大学オリジナルのグッズを買うことができます。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

英語が苦手でも全然話せなくても留学を楽しむことはできます！！NZの人とはとにかくフレンドリーでたくさん助けてくれます。だからこそ初めての留学におすすめの場所だと感じました。他国に住むという経験から得られるものは絶対あるし、本当に楽しい3週間を過ごすことができるのでとてもとてもおすすめです！！！！！！

ワイカト大学春期語学研修 2023 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	2024 年 3 月 2 日～2024 年 3 月 25 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

ニュージーランドに行きたい気持ちが最初にあり、せっかく行くのであれば時間が許す今、ホームステイや海外の大学で学ぶ経験をするのもよいだろうとなったのが応募動機です。語学対策としては、単語やリスニング等何でもよいので毎日英語に触れることを半年間意識して行いました。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

20 人弱のクラスで教科書の内容や発音練習、speed reading、図書館で本を 1 冊借り、ソロ内容をまとめて発表、ある題材に沿って決められた時間以内で自分の考えを書く writing、ほかにもたくさんの種類があり、毎日飽きなかったです。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	ホストマザー 1 人の家でしたが、親せきや友達が毎日来ていてとても賑やかでした。上手に英語でしゃべれず、単語を並べるような形になってしまっても理解してくれたのがありがたかったです。家のシステムとしては、洗濯のタイミングが自由であったことや、シャワーも 20 分と比較的長く使えたことがよかったです。しかし、この日に何かをされると言われていたはずなのに直前になって予定が変更、追加、中止となることが多々あり自分が思うように休日の日程が組めず、少し苦しかったです。
食事、健康管理	栄養バランスを気にして、青汁とプロテイン、整腸剤、マルチビタミンを持参しました。肌荒れや体調不良を起こすことはありませんでしたが、油分や塩分の高い食事が続くことは覚悟しておいた方が良かったです。また、ホストファミリーによってはお米を出してくれますが、基本タイ米のため食べられるかどうか確認してからお願いするのが良いと思います。

持参してよかったもの (理由)	夏～秋といっても寒い日があるので、ウィンドブレーカーやヒートテックを持って行ってよかったと思いました。中には、パーカーを買っている子もいました。
危機管理 (危険な目に遭わないために気を付けていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	7時以降は一人で出歩かないように言われていたのでそれはきちんと守っていました。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	170.000 円	
海外旅行保険	14.000 円	
研修費用	429,260 円 0 0 円	入学登録料，授業料，ホームステイ，空港送迎料，大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	円	
交通費	3.500 円	
その他（小遣い，通信費など）	7.000 円	eSIM
合計		円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して，その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）

Waihi Beach でサーフィンをした後海が好きな私のためにきれいな景色を楽しめる場所に連れて行ってもらいました。海と空がつながっているように感じました。ディズニーのモアナの情景を彷彿とさせる場所でした。機会があればぜひもう一度訪れたい場所です。

Taitua Arboretum 自然公園

The ニュージーランドというイメージの放牧地帯に行きたくて見つけた場所です。バス停から 30 分ほど放牧地帯を歩くと丘があり、2 時間ほどのハイキングコースがあります。牛や馬はもちろん、大きな池があるため、たくさんの鳥たちに出会うことができました。

ワイカト大学

平日は9時から3時までと長い時間を過ごしたクラス。ほとんど日本人でしたが、北から南まで様々な出身地の学生と友達になることができ、彼らの英語力の高さに刺激をもらうとともに日本中に友達ができただけでなく、帰国後の楽しみまで得ることができました。先生にも学生にも恵まれたクラスでした。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

3週間と長く不安もあるかと思いますが、行ってみて後悔することは絶対にはないと思います。旅行前旅行中限らず三重大の先生方もワイカトの先生方もたくさん力になってくれます。遠慮せずいろいろ聞いてみるのもいいと思います。